

2022年度外部点検・外部評価

4

2023年5月28日

2022年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価

をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

札幌大谷学園 監事

氏名 花輪 啓一 

●札幌大谷中学高等学校は「5つの知性を育む」をグランドデザインとして教育指導理念をもって、生徒一人一人を大切に、教職員が一丸となって教育活動に当たっていることは今日の急速なデジタル化社会の発展において高く評価される。

また、札幌大谷学園グランドデザインの基、大学・高校・中学・幼稚園が、それぞれ建学の精神を根幹とした教育目標を掲げ、定期的にそれぞれの諮問会議で実施状況報告を行い、外部理事及び派遣理事からの意見を聞きながら、今後の進み方を確認していることは大変重要であり継続して取り組むことを望む。

●高等学校全体での授業改善の取り組み状況では、内部入学者と外部入学者に学力差等が生じていることは授業担当者が平等に学習指導をする上で、それらを考慮して授業の組立てをすることは大きな負担になっていると推察される。このことは入試制度の改革で是正が可能であれば改善することが望まれる。生徒募集方針として「文武両道」を掲げ、2020年度入学生から学力重点コースに強化クラブ生主体のアスリートSクラスを設置され、学習とクラブを両立できる体制づくりを図っていることは、大変喜ばしいことであり特徴ある教育方針としてなお一層の強化を希望する。

一方、退学生徒が散見される。その退学生徒の最近の傾向として学校不適應者や長期欠席者がおり、これらの生徒に対するメンタル面をはじめ、その対応策等について議論を深めることが必要と思われる。

●部活動では、クラブ活動の環境整備も徐々に整いつつあり、その中で担当教員の指導の成果により地域大会、地方大会で優勝等し、運動部以外の文化部等においても全国大会に出場を果たすクラブが出てきたことは大変評価するものである。今後もなお一層中高兼用の施設整備を行って今以上の成績を出せるように組織的に取り組むことが望まれる。

●進路指導では組織的にきめ細かく個別指導していることが伺えた。

●健康・安全に関しては、週1回生徒指導委員会が開催され、留意生徒の報告があり状況によっては不登校連絡協議会、欠席者委員会など教務上の支援をしたり、場合によっては病院などの外部連携やカウンセラーとの連携を行っていることは極めて評価されると同時に、これらの連携は継続的に連携強化を進めていただきたい。さらに、特別支援教育では様々な家庭環境の中で育った生徒及び保護者とより良好な連携をとることは大切であるが、それらの問題等に対応できる教職員の育成と体制づくりも忘れずをお願いしたい。

●2021年度外部点検・外部評価で「保護者と教職員の会長」、「後援会会長」及び「同窓会会長」のそれぞれの評価については全体的な概要評価として妥当と判断される。